

令和8年 8 月 19 日

派遣成果報告書

有田市議会議長 様

議員氏名 嶋田 英

有田市議会の議員派遣に関する要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

研修名	決算審査の実践ポイント
研修期間	令和8年8月3日（月）
研修場所	1 全国市町村国際文化研修所（大津） 2 市町村職員中央研修所（千葉） ③ 地方議員研究会（東京） 4 その他（ ）
研修の成果	別紙のとおり

※ 「研修の成果」は研修内容や所感などを具体的に別葉に作成して添付してください。

※ 研修先から交付される「終了証」等を添付してください。

別紙

日 時 8月3日(月)

研修内容

「決算審査の実践ポイント」

午前：「決算のどこを見るか」

午後：「意味のない質疑からの卒業を」

講師：黒瀬 雄大 氏

概 要

午前の研修では、決算書の数字を単純に確認するのではなく、実質収支、単年度収支、実質単年度収支、基金の積立て・取崩しなどを組み合わせて、自治体財政の実態や持続可能性を把握する視点を学んだ。また、参加自治体の実際の決算データや予算編成方針を比較しながら、決算審査で確認すべきポイントや、予算編成の年間スケジュールを踏まえた質問・提案の時期について学んだ。

午後の研修では、議員の質問は単に分からないことを聞くためではなく、行政を動かし、市民にとってプラスとなる結果につなげることが重要であるとの

考え方を学んだ。特に、「誰が・何を・いつまでに」行うのかを具体的に確認すること、行政の計画や予算編成方針、国・県の制度、他自治体の事例などを根拠として質問を組み立てること、予算では目的や想定効果、決算では実際の成果とその要因を確認することなど、実践的な質問の方法について学んだ。

所 感

今回の研修は、決算や予算に関する知識だけでなく、実際の議会活動の中で数字や資料をどのように読み、質問につなげていくのかを具体的に学ぶことができ、大変有意義な研修となりました。

特に印象に残ったのは、黒瀬講師が参加自治体の資料を事前に調査し、有田市の決算データや予算編成方針まで実際に示しながら説明していただいたことです。一般的な説明だけでなく、自分の自治体の数字を使って説明していただいたことで、有田市ではどこを見るべきなのかを具体的に考えながら研修を受けることができ、非常に分かりやすく感じました。

また、決算については、一つの数字だけで良し悪しを判断するのではなく、基金の取崩しの理由や単年度の収支、事業の成果などを併せて確認することが重要であると学びました。予算編成方針に行政自身が掲げている内容を確認し、決算時に「実際にできたのか」「どのような成果があったのか」を検証す

るという視点は、今後の決算審査に活かしていきたいと思います。

午後の研修では、一般質問や委員会での質疑について、単に行政の考えを聞くだけではなく、質問によって何を動かしたいのか、どのような答弁を引き出したいのかを意識することの大切さを改めて感じました。「検討します」で終わらせるのではなく、いつまでに、誰が、どのように進めるのかを具体的に確認し、その後の進捗まで追っていくことが重要であると感じました。

今回学んだ内容を、今後の有田市の決算審査や予算審査、一般質問、委員会での質疑に活かし、単なる確認で終わる質問ではなく、市民の暮らしの改善や市政を前に進めることにつながる質問・提案ができるよう取り組んでいきたいと思います。